

昨年は「遺伝カウンセリング」が テレビや紙面にたくさん出てきた



療伝カウンセリングを移



な資格はないが、3年以遺伝カウンセリングに公

伝性の難病からがんまで伏

もども心中絶はしないつ。 女性は「病気の理解が

スの高まりを受け、こと かったのが適由だが、ニーフーとしての戦戦光が少な

名計画だ。相談者に様

相談者に様々な情報を提供して、

の人材育成、配搬の充実が課題になっている

遺伝カウンセリング」が住目されている。

ことをやめるという選択を 前(4)がイソ西草酸森 千葉県の女性(30)は市 の子をもつか挟める前

判断材料を提供して

適価カウンセリングの相談例 1人目の子が歳伝病。2人目をもつ べきか悩んでいる 子も角能しないから配

出生前診断を受けたい

のウェブサイトからは、胸保別、地 城別に、遺伝カウンセリングを行っ ている無股を検索できる

(http://www.idenshiiryoubumon

伝カウンセリングを受け

機の対象外になることが多

遺伝

+

カウンセリング

親子が似ているのは「遺伝」



父佐田啓二は37歳の若さで交通事故で亡くなった. 自分の年齢が当時の父親の年齢を超えた時点で、初めて結婚を決意したとか. 「父の宿命みたいなものが自分にもあるのではないか」

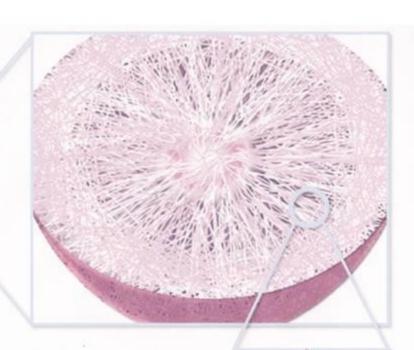
さまざまな場面で遺伝を意識する.

遺伝の秘密は細胞の中の核にある



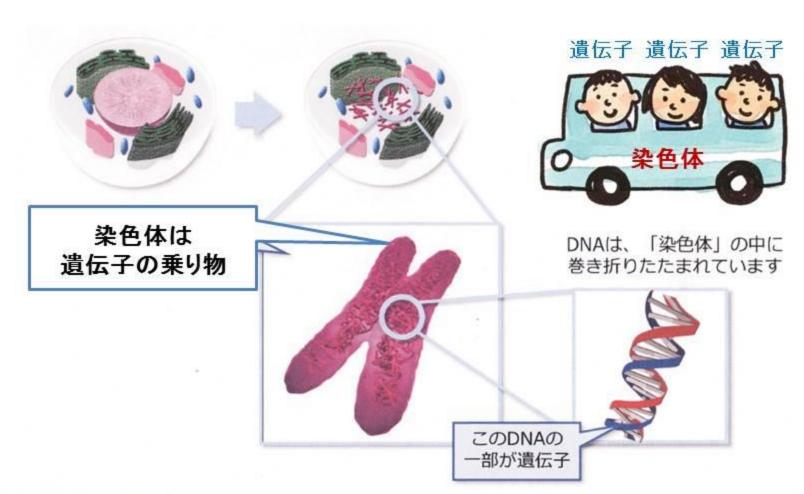


細胞の真ん中 にあるのが核

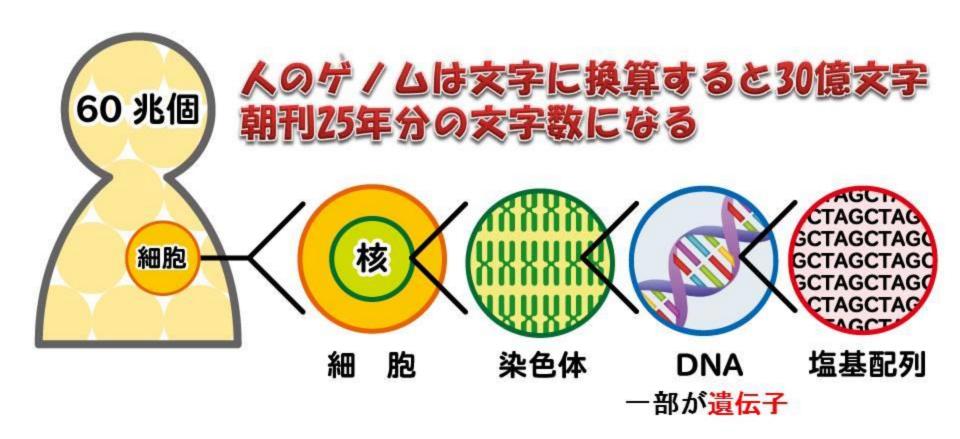




染色体は遺伝子を乗せたの乗り物



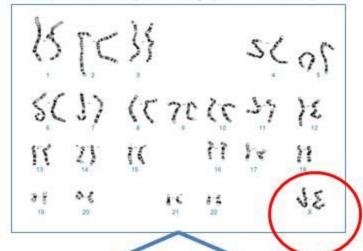
遺伝情報のすべて(いのちの設計図) をまとめてゲノムという



いわて東北メディカル・メガバンク機構

遺伝情報は生殖細胞から伝わる

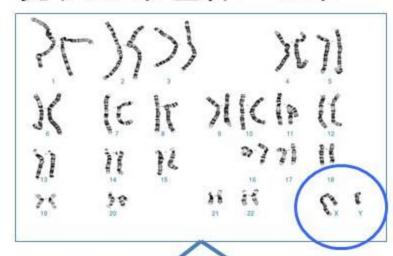
女性の染色体 46本



卵子 23本

23本

男性の染色体 46本



23本

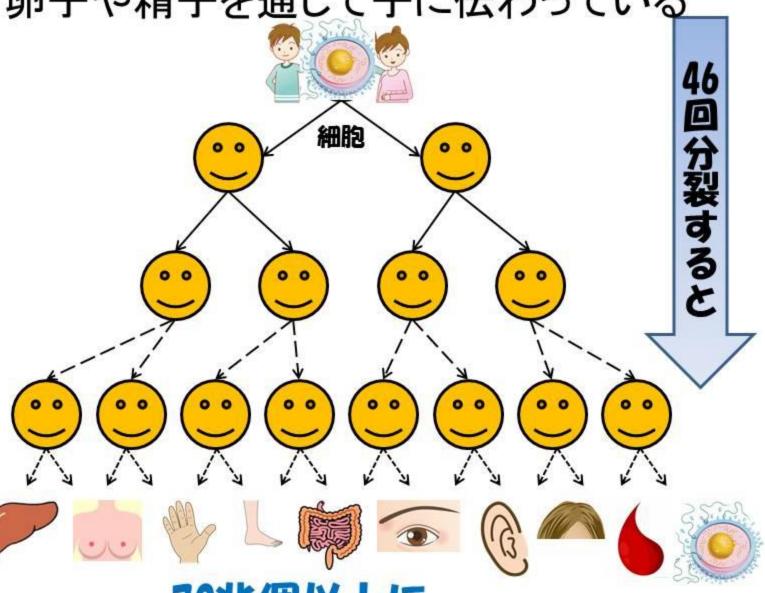
精子

23本

受精卵

46本

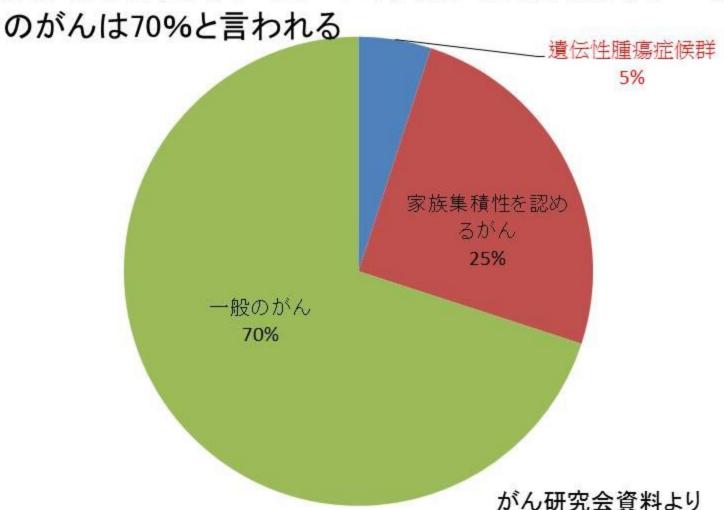
遺伝子は両親の生殖細胞である 卵子や精子を通じて子に伝わっている



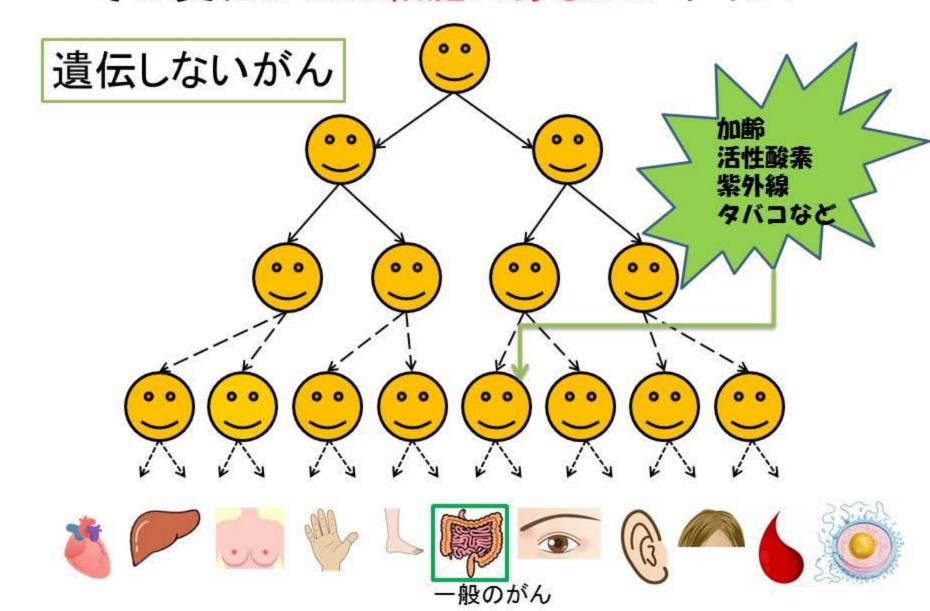


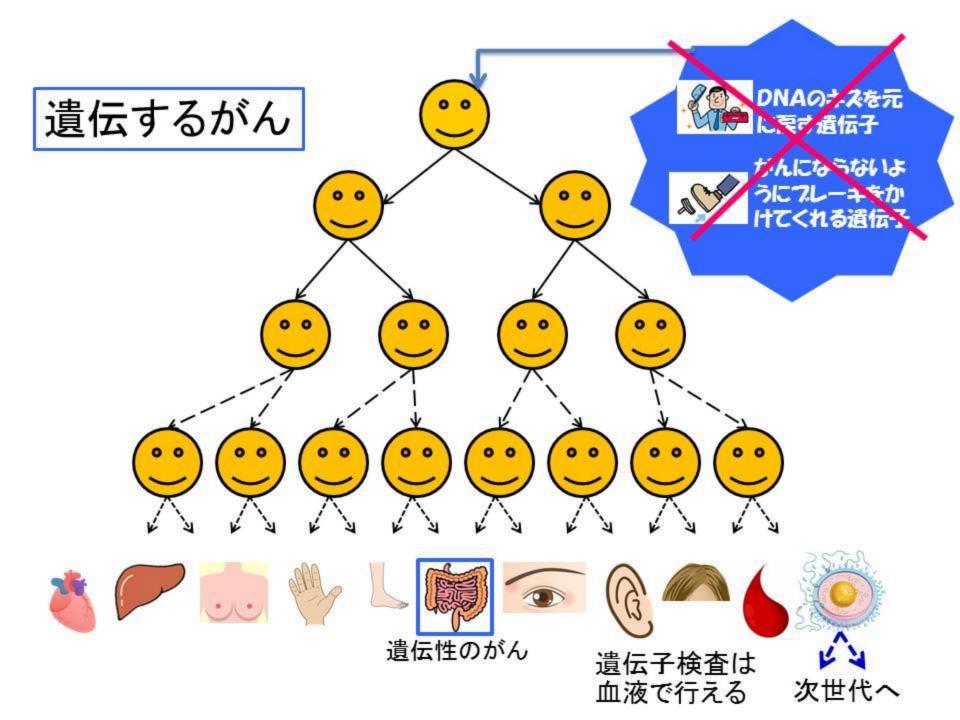
大腸がん

大腸がんでは遺伝性は全体の5%、遺伝性か非遺伝性かがはっきりしないのが25%、そして遺伝ではない一般



全てのがんは遺伝子の変化が原因であるが、 その変化がどの細胞にあるかがポイント

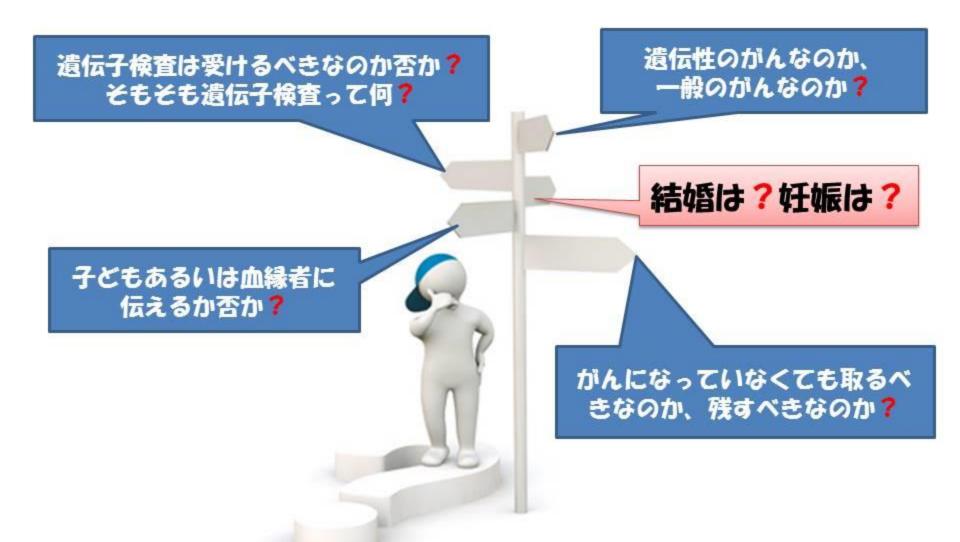




遺伝

+

カウンセリング



?を考えるための正しい情報を提供し、 それを理解し、自分の方向性を決めるお手伝い

遺伝カウンセリング

英が原因だ。四子や精子 松だ、1種類の適位子の がん全体の5%程度は歯

もある。変異があるとほ

前向きに生

手術する人

位置されて

ためらう人

自分なりに前向きに生きるた めに、予防切除したい

がんができてもいないのに 取るなんて、無理!

予防的切除なんてあり得ない

喪失感は感じない。精神的に楽。 全く後悔していない

2013年05月21日朝日新聞

こうあるべきという正解はない

アンジェリーナジョリーは

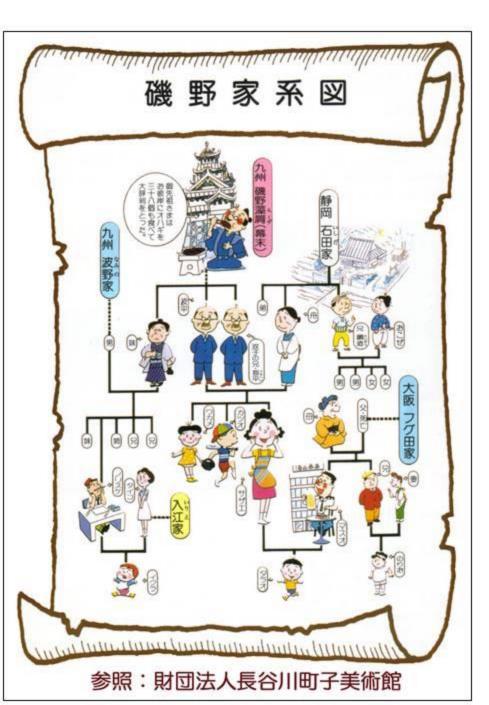
- ▶母親と叔母ががんで亡くなったという事実がある
- ■自分はまだがんを発症していない
- ■遺伝性のがんであるという診断はついている
- ▶夫がいる
- ▶6人の子どもがいる
- ...

当事者や家族の状況が異なれば、その選択や決断は自ずと異なってくる。

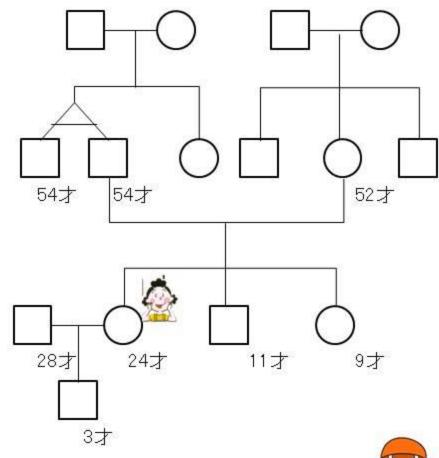
「遺伝を疑うがん」の三つの特徴

- ■家系内に若くしてがんに罹患した方がいる
- ■家系内に何回もがんに罹患した方がいる
- ■家系内に特定のがんが多く発生している

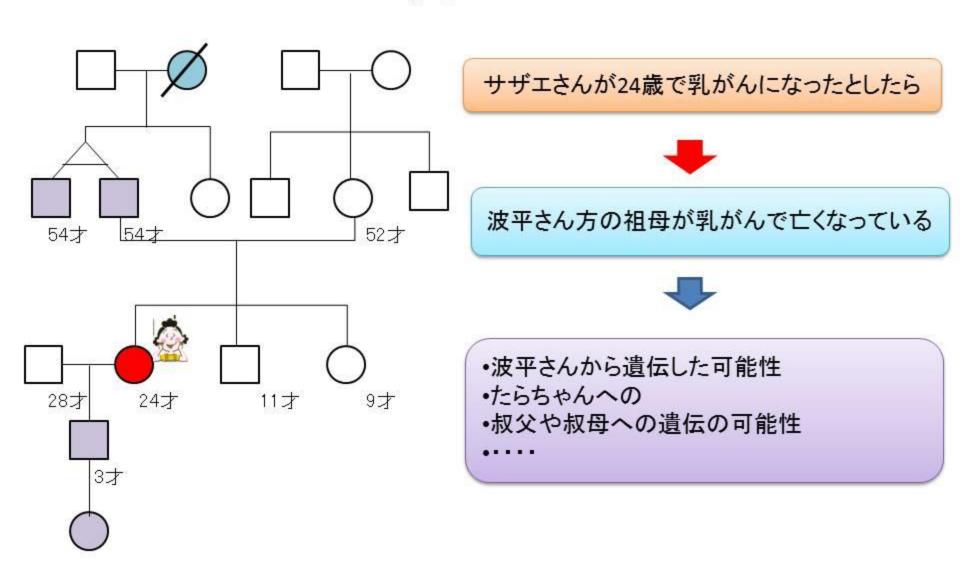
ひとつでも該当したら、まず遺伝カウンセリ ングの利用を検討して欲しい!



遺伝カウンセリングでは 家系図が大切!



例えば



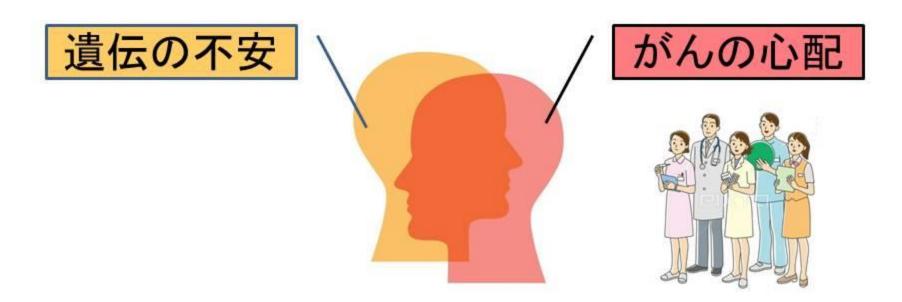
正しい情報や家系図を整理することで 遺伝性がどのくらいあるかの可能性を 予め知ることができるかもしれない

ゆっくり落ち着いた場所で 十分時間を取って、話ができる



遺伝カウンセリング室

遺伝カウンセリングを担当する人



(がんを発症している場合は)主治医と連携を取りながら、

- ■一般に「臨床遺伝専門医」が中心になる
- ■認定遺伝カウンセラー、ソーシャルワーカー、臨床

心理士、看護師などを含めたチーム医療で行う

がんに限らず、 こんな心配や不安があったら

- ■自分の病気と遺伝の関係を知りたい・・・
- ■家族に遺伝病だと言われた人がいるので心配している・・・
- ■初めての子供が遺伝病だったので、次の出産をどうしたらよいか・・・
- ▶先天異常、染色体異常、出生前診断などについての 説明を受けたが、よく理解できない・・・
- ▶遺伝子検査について受けるかどうかを迷っている・・・

遺伝カウンセリングを利用してください